

# 愛知県同胞援護会だより

第247号

平成21年2月15日発行



作：村山秀夫 様 (ケアハウス豊田入居者)

## 目次

春緑苑	.....P.2~3	若草苑	.....P.7
第2春緑苑	.....P.4	第2とよた苑	.....P.8
春日苑	.....P.5	サンホーム豊田	.....P.9
とよた苑	.....P.6	春日井・豊田グループ	.....P.10~12

## 法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306  
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>  
e-mail: [douen@mc.ccnw.ne.jp](mailto:douen@mc.ccnw.ne.jp)

# 春緑苑

## 新しい年に 皆さん集合!

2009年元旦、利用者さん、職員共に元気に新年を迎えました。

利用者さんも着物に着替えて、食堂へ集合し、田中施設長の新年のあいさつから始まりました。そして、お待ちかねの福袋を受け取り、おせち料理やお雑煮に舌鼓、カラオケ大会、書初めなどで三が日をゆったりと楽しく過ごしました。



風・川の里の皆さん



恵比寿・大塚通りの皆さん



恵比寿・大塚通りの皆さん  
いい笑顔です

### デイサービス

#### 作業療法で 個性豊かな作品作り

デイサービスでは、レクリエーションや機能訓練以外にも作業療法として、個々のニーズに合わせた編み物や塗り絵、ちぎり絵、版画などを行っています。

利用者さんからは「今度は何をしようか」、「編み物がしたいわ。」など積極的な声が聞かれます。参加されている利用者さんの中には、片麻痺で職員の

補助をうけながら版画をされる方もいらっしゃいます。完成した作品は秋の作品展で披露しています。



細かい作業に一生懸命

### 訪問入浴サービス

#### 焼湯(季節湯)で 保温効果

訪問入浴では、利用者さんの好きな湯温で快適に入浴していただきたいと、冬など寒い時期には少し熱めの湯を用意させていただいております。

しかし、利用者さんによっては、ぬるめの湯を好まれる方もいます。

このような方でも、保温効果を長時間持続させることができます。

るのが、焼湯(季節湯)と言われるもので、一般的に、ゆず湯、菖蒲湯、生姜湯などです。東洋独特の医療法とされ、香りからもリラックス効果があります。訪問入浴でも、季節湯を取り入れ、皆さんに楽しんでいただいています。



### ケアハウス春緑苑

今年もどうぞよろしくお祈りします!



### 高蔵福德神十ヶ寺巡り(行ってきまいた!)

よく晴れた1月7日(水)、総勢11名で高蔵福德神巡拝へ。各寺で参拝し、接待を受け、身も心も満足。今年も1年健康で元気に過ごせますように。



1ヶ寺ずつすべてのお寺を巡り手を合わせました



▲甘酒におしるこ、おでんにみかん...「心が温まる〜!」

ショートステイ

笑顔の絶えないお正月

今年も、22名の方がお正月をショートステイで過ごされました。

元日は、春緑神宮へ初もうでに行き、甘酒でお祝いしました。二日は、書き初めを行い、「子供の頃以来たわ、書けるかしら。」と照れながらも喜んでくださいました。三日は、福笑いやカラオケ大会でした。そして、二が日のおせち料理やお雑煮を楽しめました。

今年も笑顔の絶えないショートステイにしたいです。



居宅介護支援事業所

再び歩けるようになりたい

Aさんは60年代後半の男性で、

ヘルパー勉強会

1月20日(月)、地域交流センターにおいて、佐藤施設長を講師



▲認知症について理解を深めました

今は奥様と2人暮らしです。

歩行が不安定になり、半年以上寝床の上で生活するようになって以来、歩く力がますます衰え、自宅で入浴もできないほどでした。奥様から訪問入浴を、という希望で支援を始めること、ご本人も「再び歩けるようになりたい。」と新たな希望を持たれるようになりました。

さっそく、デイサービスにつなげ、歩行訓練を行い、みるみる成果がでてきています。

これからも、私たちはご本人の意欲を引き出せるよう、支援を行ってまいります。

ヘルパー勉強会

師とした「認知症についてー理解とケア方法ー」についての勉強会を行いました。30名のヘルパーが参加し、熱心に学びました。

無病息災を祈願

1月16日(金)、大山成田山へ初もうでに出かけました。

到着すると、空気は冷たかったですが景色がとても良く、初もうで日和。本殿に着くと、「今年も健康でいられますように。」や、「今年も良い一年でありますように。」と、1年の無病息災をお祈りされていました。中には、「お願い事が多すぎて、

どれも一番にしたいのかわからなくなっちゃって。」という利用者さんち。

全うそろっての初もうでは、とても楽しく過ごすることができました。



▲新しい年も笑顔で

地域包括支援センター

2月の介護予防教室の予定

認知症予防

「体を動かして寒い冬を乗り越えよう」～いきいき体操と太極拳でホッカホカ～

【日時】2月26日(木) 14時～15時30分

【講師】地域包括支援センター春緑苑

看護師 太田美幸

【会場】東部市民センター 第二集公室

【定員】25名(定員になり次第申込み締め切りになります)

【参加費】無料

【申し込み先】

電話 (0568)88-8303

FAX (0568)88-7938

メール chiikihokatsu@douen.or.jp

担当 水野、寺井、池部、太田



福祉用具貸与事業所

体位変換ライトターン



テコの原理を応用して介助者一人で簡単に体位変換できる福祉用具があります。おむつ交換、体位変換の際に最適です。

関節の拘縮や床ずれ防止、シーツのしわ伸ばしに活用できます。また、股間を開いた状態を保つことができますので、排便や足浴の際にも利用できます。レンタルも可能なので、お気軽にご相談ください。

2・3月の行事予定

2月20日(金) 月例祭

2月27日(金) 誕生会

3月2日(月) おこしもの作り (ケアハウス)

3月3日(火) ひなまつり会

3月8日(日) 坂下公民館まつり (ケアハウス)

3月8日(日) 坂下公民館まつり (ケアハウス)

# 第2春緑苑

## 特別養護老人ホーム

### 楽しく習字 習字教室

毎月、習字の先生が来てくださいます。この日を楽しみにしている利用者さんも多く、お誘いすると「わあ、嬉しい。」と皆さん喜んでくださいます。

今月は、たこ、ゆき、みかんなど、お正月らしいお手本が並び、「これは難しいなあ」と言いながらも先生にマルをつけてもらうと、「マルつけてもらったよ。」と笑顔で見せてくださいました。

正面玄関に皆さんの作品を展示しておりますので、どうぞご覧ください。



▲皆さん習字です！

### ユニットで鏡開き

1月9日(金)、鏡開きを行い、温かいおぜんざいを各ユニットでそれぞれ召し上がりました。おもちを焼いてみたり、レンジで柔らかくしたり…とユニットによって食べ方も様々。

寒い日には、とっておきのおやつで、皆さん大変満足されていました。

### 職員リレー随想

#### ある日の出来事

第2春緑苑 特養 介護士

小川 千春

先日、ある利用者さんのケアをしていると「本当にここに来てよかった。」と言われ、私の手をさすりながら涙ぐまれていました。ほんの少しの手助けが利用者さんにとっては本当に嬉しいことなんだと改めて感じました。

今後利用者さんや一緒に働く職員の声を聞きながら焦らずじっくりと取り組み、利用者さんにここに入ってよかったと思っていたいただけるようなユニットを作っていきたいです。

### 3月の福祉講座のご案内

#### 「歩き方を見直そう」

【日時】 3月12日(木) 14時～15時30分

【講師】 松井整形外科医院  
リハビリテーション部主任 内海 基至 氏

【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター

【定員】 45名 (定員になり次第、申し込み締め切りとなります。)

【参加費】 無料

【申し込み先】 電話 (0568)56-9166 担当 山中、多治見、山口、吉田



### 地域包括支援センター



▲「おいしいね」と大満足！

### デイサービス

#### 立派な門松が完成！

昨年12月、利用者の皆さんにお手伝いをお願いして、立派な門松として飾りを作ることができました。デイサービスセンターの入口に展示し、皆さんにご覧いただきました。

今後も、いろいろ楽しくておもしろい催し物を企画いたします。皆様、ぜひ第2春緑苑デイサービスセンターをご利用ください。職員一同お待ちしております。

### 選択メニューの月

日時:1/21(水) 昼食



### 1月の選択食

おいしく 楽しい 食事を目指して

▶カレーピラフが人気でした

### 新任職員紹介(2月1日付)



倉橋職員 吉田未ゆみ



倉橋職員 坂川美佳

### 2・3月の行事予定

- 2月24日(火) 理美容
- 2月27日(金) 誕生日会
- 3月3日(火) ひな祭

▶皆さん、お正月気分が盛り上がるね」と好評



# 春日苑



▲担当者から花束贈呈



昼食には赤飯も出てお祝いムード一色でした。3人の利用者さんは花束をもらい、自分の部屋を飾っていました。春口苑は、賑やかな一日となりました。

てれくさそうな2人▶



▶紅一点です



1月8日(木)にレクの日と還暦のお祝いを行いました。今年は3人が還暦を迎えられました。赤いちゃんちゃんこを着て、みんなからお祝いの言葉がかけられ、とても恥ずかしそうにいらつしやいました。

## 2・3月の行事予定

- 2月12日(木) レクの日
- 3月3日(火) 桃の節句

## 障がい者生活支援センターだより

### 利用者負担の軽減措置について

先日、平成21年1月21日(水)に行われた全国厚生労働関係部長会議において、利用者負担の軽減措置についての案が出されました。

①平成21年4月以降の軽減措置の継続実施。②新たに平成21年7月から軽減措置の適用に必要な「資産要件」の撤廃。③「心身障害者扶養共済制度」における個別減免時の収入認定からの除外という方針が示されました。

②「資産要件」の撤廃により、在宅生活を送っている方や施設入所されている方の、自己負担額が変わってくると思われます。また、③「心身障害者扶養共済制度」においては、入所施設、グループホームなどの利用者に対し、個別減免措置が適用される見込みです。

ご不明な点・疑問などがございましたら、当支援センターまでご連絡ください。

### 【お問い合わせ】

TEL(0568)88-7637  
FAX(0568)88-5704  
Eメール:kasugashin@nic.crw.ne.jp

担当 渡辺・住岡まで

## フリーカー 鷹来

### 新作業 ジャンボキャンディー

株式会社セブンティーン様から新しくジャンボキャンディーのカプセル詰めの仕事がいただきました。いちごミルク味のキャンディーがたくさん入った袋をうまくカプセルに詰める作業です。

カプセルがずれてはまらないったり、ラインがずれてしまっ

### 鏡開きで ぜんざいを食べたよ

平成21年1月9日(金)に、保護者の皆様を持ち寄ってくださいましたおもちを使って、保護者会



▲皆様ありがとうございました

たりと、なかなか難しい作業です。



◀ジャンボキャンディー完成



▲おいし～!!

の方々がぜんざいを作ってくださいました。皆さん1日待ち遠しくてソワソワしていました。仕事の合間の休憩でぜんざいをいただきました。とてもおいしかったです。

▼1月14、15日 母神社へ  
初詣に行きました。  
「健康に過ごせますように」



▲1月8日 初釜を行い、  
お菓子・お抹茶を  
いただきました

▼1月9日  
鏡開きを行いました  
真剣な表情！



### とよた苑のお正月

「明けましておめでと  
うございます。」の元気な声と  
共に平成21年を迎えました。  
新年は福袋の配布、書初  
め、初釜、初もうで、鏡開  
きと行事が盛りだくさん。  
食事もおせち料理、お雑  
煮などを食べ、身も心もお  
正月を楽しめました。

## とよた苑

### 書初め作品



### 民謡を楽しむ

1月17日(土)、民謡三友会の  
皆さんが趣向に来てくださいま  
した。



最後の曲は  
「北海道」  
です



「手拍子マ  
合わせます！」

### とよた苑デイサービス

### 心も体もボカボカ

1月22日(木)、寒い季節に温  
かいおやつで、体をボカボカし  
てもらおうと、コーヒーメーカー  
から作る本格的コーヒーとた  
こ焼きにしました。  
フロアー全体がコーヒーのい  
い香りに包まれ、できあがった  
熱々のコーヒーとたこ焼きは大  
好評で、特にコーヒーは「喫茶  
店の味みたい、うまい！」と、  
おかわりする人も大勢いました。  
心も体も温まる癒しの時間に、  
皆さん大満足でした。



▲「おいしいです。」と好評



▲「ありがとうございます。またお願いね。」

### ケアハウス豊田

### 新たな 年を迎えて

▼健康祈願



「母神社で  
初もうで。  
「お参りして  
安気にな  
りました。」



▲今年の運勢はどうでしたか??



「92才!!  
まだまだ  
お元気ですよ」

### 短歌作品

山茶花の赤きがパツと  
咲き満ちて  
冬枯れの庭に生氣溢るる  
神谷 みゆる様

### 習字作品



初笑い



3ヶ口は書初め、かるたとり、  
トランプと、正月遊びを行いました

羽根つき



養護若草苑

色とりどりの

鬼面完成!

若草苑のクラブ活動に工作クラブがあります。工作クラブでは、季節行事にあわせて工夫を凝らした作品を作っています。

1月21日(水)の工作クラブでは、節分会に向けて、「鬼面」作りをしました。画用紙にクレヨンで色付けし、はさみで切り抜き、輪ゴムを通せば完成。一人ひとり個性豊かな表情の鬼面ができました。



▶細かいところまで丁寧に配色できあがりを楽しみ!



若草苑デイサービス

福笑い 初笑い 大笑い

新年を迎え、1月6日(火)から9日(金)まで、福笑い、羽根つき大会を行いました。

福笑いには、目隠して目や鼻口を並べました。慣れない感覚に戸惑っているところ、「もう少し上だよ。」と周りの人に教えてもらい、素敵なお福さんが完成。目を開けて見るとビックリ、思わず「おかし顔ね。」の一言に皆さん大笑いでした。

羽根つきは、風船と手作り羽子板で行いました。負けた人には、ひげ、×印などを付けてもらいました。照れながらも、皆さん互いの顔を見て「なかなかお似合いたよ。」と慰めたり、ほめたり、子供の頃に戻ったよ



▲あら〜変な顔

東山デイサービス

介護は笑いから

笑顔あふれるデイサービス

「表情は相手に心地良さを与える入口である」と聞いたことがあります。朝の挨拶から、笑顔でいるだけで空気が明るくなり、1日が良かった!と過ごすことが



うに、懐かしい時間を過ごし、初笑いとなりました。



▶羽子板楽しかった

できますよね。東山デイサービスにも素晴らしい笑顔がいっぱいあります!



<笑顔の効用>

- ▶元手がいない、しかも利益は多い。
- ▶与えても減らず、与えられたものは豊かになる。
- ▶一眼見れば記憶は永久に続くことがある。
- ▶どんな金持ちも、これなしでは暮らせない。
- ▶どんな貧乏人も、これにより豊かになる。
- ▶家庭を幸せに、商業に貢献を

- もたらす。
- ▶友情の合言葉である。
- ▶腐れたものにとっては休養。
- ▶久患の人にとっては光明。
- ▶悲しいものにとっては太陽。
- ▶悩めるものにとっては自然の除菌剤となる。
- ▶言うことも、遊ばせることも、借りることも、盗むこともできない。

(by デール・カーネー)

介護を必要とされる高齢の方は、できていたことができない辛さ、悲しみ、さまざまな思いがあると思います。それでもより良く生きるために日々努力される姿はやはり人生の大先輩! 笑顔のパワーでいつまでも元気でいたいですね。

## 第2とよた苑

### 1年のスタート

平成21年が始まり、第2とよた苑でも様々な正月行事を行いました。

元日は年始のあいさつと福袋配布。2日は書き初め、15日には初釜で抹茶と和菓子を楽しみました。また、初もうでは各ユニットごとに企画して神社に行きました。

今年も明るく楽しく笑顔で過ごしましょう。



福袋の中身は何かかな?



▲お抹茶と和菓子に舌鼓



▲お正月にちなんだ字を書きました。お上手ですね



▲母神社でお祭り

## 生徒さんとの交流

1月13日(火)～16日(金)に藤岡中学校の1年生の生徒さん18名が4日間に分かれて福祉ボランティア学習のために来苑されました。

どの生徒さんも一生懸命に利用者の皆さんとコミュニケーションをとったり、掃除の手伝いをしたりと活動してくれました。感想を聞くと、「楽しかったです。」「お年寄りの方とたくさん話すことができました。」などと笑顔で話してくれました。

## 居宅介護支援事業所

### 努力を惜しまず

4年前にくも膜下出血を発症し右半身麻痺となり、入院生活を余儀なくされたTさん。大婦二人三脚で、リハビリに励み、なんとか在宅での生活を取り戻しました。

その後、Tさんは努力を怠ることなく、デイケアでのリハビリ、毎日の妻との散歩を欠か

さず繰り返してきました。そして近頃では、以前趣味でしていた尺八を思い出し、奏でています。その傍らでうれしそうに聞いている奥さんの目にも涙が光っていました。

私たちケアマネジャーは、そんな利用者さんたちの努力に応える支援をしていきたいと思えます。



▲練習の成果を発表



▶ユニットで縁芝居をやってみました

## デイサービス

### 菊香流・菊香会慰問

1月19日(月)、デイサービス一般型フロアにて、菊香流・菊香会による踊りの慰問が行われました。

次々と繰り出される見事な踊りに、利用者さんからは、「素晴らしい舞を見せてもらった。」と感謝の言葉が聞かれました。プログラムには、「みかんの花咲く丘」など、なじみの童謡も含まれており、利用者さんも一緒に歌ったり、口ずさんだりしながら、楽しい時間を過ごされました。



▶華やかな舞を披露していただきました



# サンホーム豊田

## 新たな気持ちで



▲今年もがんばるぞ!

1月6日(火)に、作業新年会を行いました。

午前中は、4つの作業班に分かれ、今年の班の目標を決め、書初めをしました。利用者の皆さん全員が、新たな気持ちで、前向きな班の目標を立てていました。

午後からは、書初めの発表と、福笑いゲーム、そして皆さんが一番楽しみにしているお菓子パーティーを行いました。「また1年、頑張っていこう!」という、皆さんの前向きな姿を見ることができました。

## 恒例!

### もちつき大会

1月10日(土)、お正月明けでも寒い日でしたが、多目的ホールと1階ラウンジで、毎年恒例のもちつき大会を行いました。

ほぼ全員の利用者さんが職員と一緒に杵を持ち、もちをつきました。皆さんでついたもちは、保護者の方にきなこ、あんこ、大根おろしをトッピングしてもらい、おいしくいただきました。自分でついたおもちを食べることができ、皆さんたいへん満足されていました。

## 初体験のおもしろ足湯

1月13日(火)に、利用者さん2名、職員2名で刈谷ハイウェイオアシスに出かけてきました。

到着後、園内を散策し、メリーゴーランドやゴーストに乗りました。昼食を食べた後は、フィッシュテラピー足湯を体験しました。ふだんあまり笑わない方が声を上げ笑う姿がみられました。貴重な体験ができ、また利用者さんの笑顔を多く見ることができた、とても良い外出でした。



▲きれいになりました



## 初もうでに

### 行ってきました



▶「甘酒おいしい!」

1月2日(金)に、利用者さん32名が午前と午後に分かれて、松平東照宮へ初もうでに出かけました。

皆さん、順番に参拝された後、日酒をもらいおいしそうに飲まれたり、火にあたって体を暖められたりと思いきいに過ごされており、新しい年最初の楽しい外出になりました。

## 生活介護事業

### 猿投温泉で新年会

1月9日(金)、猿投温泉へ新年会に出かけました。「バスが来たあ!」、「今日はお母さんと一緒」と、いつものデイサービスと違う雰囲気、皆さんはそわそわ。

おいしいご飯を食べて、カラオケをして、温泉にも入って。あまり長い時間ではなかったのですが、利用者さんや保護者の方々と一緒に楽しい時間を過ごし、いつもと一味違った笑顔が見られました。



▶「たくさん食べるぞ!」

▶「よっこらしよ!」



## 3月の行事予定

3月3日(火) ひなまつり

支えていただいた方々

1月1日～1月31日(敬称略、順不同)

春日井グループ

春緑苑

特養

寄付金

加藤清・前並米蔵・寺西良由美・武内重代子・木村真子・山本由子・塚田美智子・岡部由久・山口三子・神野好子

寄付物品

安藤生花店・清野治美・佐藤みゆのり・水谷好子・木村ナツミ・松井サチ子・中島三子・林春雄・古田イキ・濱野久代・水谷さん・神野アキラ・納屋千江子・岡部たい・飯田シズ子・渡部ハル・森山恵子・大西久子・櫻木ふよ子・西村幸子・渋谷政晴・長谷川美津子

ボランティア

【森の会】古藤花子・日比野恵美子・金井規久・西山啓子・神野好子・藤田明美・小島光子・日比野典博子・藤田幸子・山田唯子・安藤ゆう・尾山俊子・石原貞子・塚本益得・中岡忠・中岡真智子・小林弘子

【豊栄会】大野豊美・大島まき子・中島英子・安藤さみ・長谷川紀枝・久代光子  
【豊味知会】飯下阿古・香田美智子・平松房江  
【はぐるまの会】古川時・近藤幸江・塚田美智子  
【JAの会】鈴木信子  
【よつばの会】落合貴子・今井良子・大西美奈子  
【森の会】山下和子・水井加代子  
【おんがくON】尾崎理恵  
【あじさいの会】岡本富子・佐々木伸久子・柴田まゆ子

【やよいの会】保木井恵子・辻あけみ・古川好子・武弘子・山浦典子  
【ネオボリスの会】渡部優子  
【個人】田中悦子・武内重代子・大西美奈子・山本浦子・塚田美智子

【デイサービス】  
金田和子・八幡賢男・久村敏夫・松橋まき  
【ボランティア】  
辻田由美子・清水佐紀子・長谷川美穂子・塚田由那子・イノ美智子・古川時白根俊男・松崎敦史

大塚志まゐ・乙部光代・中野山紀子・後手紙教室・水野範風(詩吟教室)・李の会・島村裕美子(音楽療法)・林古代・夏目ま(詩吟)・高橋紀子(ボランティア)・古川良彦  
【シヨートステイ】  
加藤まき子・池田信次郎  
【寄付物品】  
堀入敏美・美穂・鈴木ちる子・長谷部喜美子・下松八重子・小林弘子・岡部博章・川本ゆり・川本美恵子

ボランティア

【春日井仲間会】濱田静恵・大石恵・飯田直子・森邦子・高橋紀子・森田浩子  
【心を唄う会】小野好子・山本休乃・山田順子  
【たかなまの会】立岡紀子・田中謙悟・山中妙子  
【高森台たんぼの会】小木重幸子・矢吹匠子・辻丸智江・長根紀子・坂二和子  
【個人】今井平代

居宅介護支援事業所

【寄付物品】  
副田相子・平和介護センター・藤川ふゆ・長谷川里ん・松浦久隆・和田節  
【ケアハウス】  
亀山トキ・稲垣房子・生田勝・藤野好子・杉山辰夫・高下和次・加藤芳子・伊藤かず江・大野まき・木村芳男・青山しのぶ・成春千代子・林達也・中島タカ子・松本節子・大塚千代子

ボランティア

【春の会】中岡真智子・中岡忠・神野好子・嶋田幸子・藤原サチ子・三鬼ユカ  
【個人】梅村平・嶋田好子・大石富恵・小松本穂・野田節  
【グループホーム】  
川上綾子・杉本康則・石丸茂・太田登志子  
【ボランティア】  
内山まじり・坂島勝子・波多野信宏  
【ヘルパーステーション】  
神谷さく・木山由美子・佐藤アキラ・和田節・伊藤アヤ

地域包括支援センター

【寄付物品】  
古田二郎・林兼子・吉野美奈子・中嶋スズ子

第2春緑苑

特養

寄付金

加藤まき子  
古木光男・森比佐子・高田ハルオ・柳澤アキヲ・山根マシイ・伊藤玉恵・林園子・渡部たま・公文スミ・渡邊ハルコ・白黒野・田島成子・山瀬歌子・今川下恵  
出雲取・刀塚隆・中野新樹・山本枝樹・南松岡尚事

ボランティア

【下津ボランテア】林ヒナ子・林順子・林キヨ子・林渡子  
【聞き取りボランテア】各務勝彦・船垣文枝・渡部まどり・川田博子・中嶋光男・眞幸明美  
【個人】三浦茂・山本浦子・塚田美智子・美穂美夫・美岡明夫・長谷川清和・伊藤健治・山田唯美・小島悦子  
【シヨートステイ】

寄付物品

男神祥一・真田好性・小林アツ江・飯田忠義  
【寄付物品】  
知崎美智子

春日苑

【寄付金】  
青山義昭・高山豊男・池下利夫  
【寄付物品】  
山田義之・愛加城城婦人団体連絡協議会(南松岡商事スペース)・前並米蔵・山太啓建・藤野東海・福屋組合専門学校・安藤勝・大見友子・山田久子・島谷清治・岩崎美和・小多博子・丹羽元治・矢野文隆

ワーカー倶楽部

【寄付金】  
岡崎かよ・浅井芳枝  
【ボランティア】  
梶田明美・風岡公二・阪本正子・木下美紀・高橋秋人

とよたグループ

とよた苑

特養

西山富子・酒井いよ子・大田静江・油月まゆ子・鈴木志津子・井上シゲノ・鈴木代・河合美子・田々子・小林チヨ子・松坂敬・古賀スズ・鈴木良子・山田はま子・鈴木八重・深津こう・富田綾子・嶋田芳央・松下豊子・山古ハルエ・三田る・細川さゆ・紫山好子

ボランティア

北原ヨシ子・西口正明・西口重代子・シスター・牧山・シスター・木全・柳橋弘行・高岡敬・河原良翠・岡野・感民・友会(りき)・近藤加奈子  
【寄付物品】  
川本富子・寺澤和昭・嶋田美幸・中根まゆの・杉山トヨ子・池沼キリ・柴田ふみ子・木多てる・鈴木昌子・成田まよ子・鈴木清秋

ボランティア

高岡まき子・森本舞舟・今井紅蓮・鈴木富和・土藤和子・下村雅子・須藤好子・山本博子・松平博枝・佃太枝部・大畑福雄・アキラム  
【ケアハウス】  
加藤美穂・山マシヤ  
【寄付物品】  
飯田真行・平松一子・岡崎タカ子・片山登志子・山崎栄美子・深野男・加藤誠・玉山雅清・鈴木まよ子・近藤美穂・青松美典・山本美紀子・玉山俊恵・近藤敏子・酒井正夫・柴田和子・島袋教子・近藤麻伸・岡崎五文字・島谷志子・飯倉ふじ子・早川美男・村山久夫・松尾淑子・北川天津子・加納勝美・福岡キリ子・後藤莊一・柴田千代子・深見ツグ・藤中目新・関孝母・栗部豊亮

ボランティア

八和田美奈子・佐川登志恵・岡崎タカ子・片山登志子・山崎栄美子・島袋敏子・下り藤ミチ子・木下浩美・今井紅蓮・菅原三陽子・嶋野之香・山田慶子・心黒根子・嶋田明子

東山デイサービスセンター

【寄付物品】  
鈴木はま子・酒井好子・鈴木ヒナ子・谷谷武士・伴昭仁朗

第2とよた苑

寄付金

加藤美子・杉崎鈴子・前山鶴子・古田八重子・川口つづ子・鬼頭ひな子・出雲取・アルフレツタ吉野好子・村山ちる子・しらかき・葉岡伊藤園・水野さた子・伊藤大八郎・加藤アキラ・山下弘江・石川満男・三浦三郎・浦はり子・甲村たま子・高田千代治・成田ハナコ・古田八郎・曾山男・大森義明・加藤てるは・川合桂子・堀部房枝・生田君子・竹川三千子・山下正信・社会福祉法人誠正会

ボランティア

シスター・教山・シスター・木全・金子一枝・大津登志江・岡野誠  
【寄付物品】  
古田八郎・近藤まき子  
【ボランティア】  
菊香・相寿・塚田潤延

若草苑

【寄付物品】  
井川千中・鞍馬山別院弘恵寺・JAあいち豊田いりご・部会・今岡裕雅・中川保隆  
【ボランティア】  
ひまわりカラオケ教室・栄化館中学校友の会・袖元智子・長野芳枝・中島小百合  
【寄付物品】  
中根まゆ子・井上藤子・自津マシ子  
【ボランティア】  
汐崎いくよ・大塚美美子・西崎道子・荒木悦子

サンホーム豊田

【施設整備】  
鈴木和夫  
【寄付物品】  
宇根系・澤田美恵子・安藤光男・美里中学校・横岡誠  
【ボランティア】  
樹形正樹・岡田隆二・橋本愛

海外研修  
レポート

# アテネ市からドイツへ海外研修 「アテネ市とドイツの福祉施設」

青森県デザインサービスセンター 主任 丹羽 宏

10月18日(土)から10月26日(日)までの9日間、ギリシャ・スイス・ドイツの福祉施設を視察しました。その概要を報告します。

## 【ギリシャ】

10月20日(月)

アテネ市内にある「カリコムシオ」という高齢者福祉施設を訪問。この施設は、68歳以上の人が入所でき、基本的に自立した方が入るところだが、病気になることも選択することは無い。

この施設の運営方針は、貧しい人を助けることである。利用料は1ヶ月1,200€(約13万8,000円)が必要であるが、この施設で生活している人の4割程度が利用料を払っていない。施設の収入で一番多いのがここで生活して永眠した方の遺産である。その次の収入としては、企業や資産家からの寄付金があり、ギリシャは日本のように行政からの補助金などはない。これはギリシャ正教の教えからのもので、裕福な人が貧しい人を助けるのが当然だと、この国民は考えているのだと思う。

見学当日、入所者の方が私たち



入所者の方と一緒に(カリコムシオ)

▲私たちがピアノ演奏を歓迎してくれました

の訪問を歓迎してくれた。入所者の1人の男性がピアノを弾いてくれた。

午後はアテネ市の郊外にある、孤児や親に問題がある子供の施設「SOSチルドレン」を訪問した。一般家庭と同じように、親と同じ愛情を注ぐことを運営方針とし、2歳から17歳の子供が生活している。

この施設には14の家があり、1つの家に5〜6人くらいの子供と母親の女性職員が共同生活して



▲施設の外観(SOSチルドレン)

いる。行動も家族単位で行い、集団で行動することはない。学校もここから一般の学校に通学している。この施設に入ったらすべて無料で、衣服、食事、塾などの援助をしている。この運営資金はすべて寄付によって運営されており、国からの補助は午前に訪問した施設と同様いっさいないが、この土地は国から寄付してもらったものだそうだった。

この施設の系列として、2〜5歳までの虐待を受けている子供を対象にした施設もある。両親を教育しているが、だめならこの施設に入所させている。

## 【スイス】

10月22日(水)

午前は、ボウ州のニオンという町にある民間の保育所「ボワロネット託児保育所」を訪問した。

スイスには、公立の保育所と今

回視察したような民間の保育所とがあるが、民間の保育所の数はまだ少ない。公立と民間の大きな違いは、公立は公的機関(州)からの補助が受けられるが、法的制約が多いという点である。そのためこの保育所では、補助を受けずに民間の保育所として運営している。

この施設は0歳〜4歳半までが対象で、4つのクラスに分かれている。1つ目のクラスは生後14週〜16ヶ月(産後後)まで。2つ目が16ヶ月〜24ヶ月(ハイハイクラス)で、このクラスから音楽や英語などのカリキュラムがある。3つ目は2歳〜3歳半。4つ目は3歳半以下。この上に幼稚園(2年間)があるとのことだった。

州の保育士の配置基準は、15人に対して保育士3人と決められているが、この施設は8人の保育士



▶お米で遊ぶ子どもたち(ボロネット)

を配置している等、公立に比べて保育士の配置を手厚くしている。また、公立には厨房がないところが多いが、ここには専用の厨房があり、ここで料理を作り提供しているとのことだった。

利用料は高額になってしまいうだが、様々な面で民間として信念をもった運営がなされていると感じた。

午後の視察先はジュネーブ市の郊外の広々とした公園と美しい小道に囲まれた静かな環境の中にある「メゾン・ド・ヴェツジ高齢者施設」。この施設は州の中でも医療が進んでいる3つの施設の1つということであった。1927年に創立され、現在入所者は男性が60名、女性が10名の計200名。平均年齢は86歳で最高齢は102歳であ



▲施設の喫茶ルーム(メゾン・ド・ヴェツジ)

▶12ページへ続く

る。平均入所期間は3年と日本の特別養護老人ホームに比べ短めである。スイスは基本的に在宅治療中心で、末期での入所が多いためである。ただし、ここはメデイカル老人ホームであって病院ではない。

スイスにも障がい度というものがあり、8段階に分かれている。このような施設に入れるのは3〜8の人で、平均6〜7の人が入所してくる。施設に入る人の90%は病院からの依頼で入所しており、その際は病院から3つの施設を提示され、本人もしくは家族がそこから選ぶシステムになっているとのことだった。

居室は個室と2人部屋があり、ベッド以外は何でも個人のものを持ち込んで良いことになっている。



▲住みかへお母の話を聞くメキシコ人女性

ここはベッドも認められており、家族（夫婦）と一緒に入所して生活している人もおり、驚いた。これは、居室が自分の家であるという施設方針に基づいているからだと考える。

スイスでは日本と同様に大規模な施設を造るのではなく、町中小規模の建物を造っていく傾向にあるという。やはり住み慣れた所で最期を迎えたいと考えるのは万国共通である。

【ドイツ】



▲ミュンヘンの市庁舎

10月24日(金)

午前はミュンヘン市の郊外の住宅街の中にある「フリツキー・キストラー・ハウス」という高齢者施設を視察。この施設は1977年に創立され、100名が生活している。平均年齢は87歳で、最高齢は104歳である。

施設の理念は「友情・仲間、共同・家、援助」であり、日常生活が文化的でかつ快適に営まれることを最優先に考えて、集会所やグループ活動など、平常の生活に変化を加えて生活に充実感をもってもらせるよう心がけている。そして、食事面においては、リッチな朝食や個々の健康を考慮したメニューを提供するなど十分な配慮をし、医療面においては、医師の診断や医療面でのスペシャル・ケアなども必要に応じて提供しているとのことだった。

また、ドイツでは介護保険制度が施行されて、10年経つが、現状としては、制度の内容は変わっていないという。困る考えは、在宅介護を推進しており、特に家族がいて軽度の人は在宅へ戻ることになっているそうだった。しかし、ヨーロッパでは、全体的に年をとると老人ホームに入るのが当たり前という考えが根深くあり、老人ホームへの需要は高いとのことだった。

午後は「ピッツバーンワークショップ」という障がい者の作業所に向かった。ここは身体的、精神的障がいがある人に仕事の場を作るために造られた施設である。ここで働いている人は現在10名程で、利用対象者は15歳〜65歳までとなっている。



▲作業をする利用者さんたち (ピッツバーンワークショップ)

「施設としての収入は0でいい、収入が入ったらすべて利用者に還元する」というのがこの運営主体である協会の方針である。この協会は利用料を取らずに企業からの寄付金で運営されている。この施設の目的は利用者への社会復帰であるが、道はとて険しく、社会復帰できるのは1〜2%くらいである。

ここでは大きく①組立作業部門、②クリーニング部門、③包装作業部門、④メタルワーク部門、⑤ケータリングサービス部門という5つのセクションに分かれて作業している。

作業にはすべて納期があるが、守れているという。仕事に波はあるが、今の利用者が作業できる十分な量は確保できているとのことだった。

【まとめ】

各国を支える様々な制度や施策をかいま見ることができました。特に今回の3か国の制度は、それぞれにその国の文化や歴史などを背景に成り立っていることを改めて理解することができました。私は高齢者関係で勤務をしているため、同じ3か所の施設に対しては、考えさせられることが多くあり、また児童、障がい者関係の3か所に関してとても新鮮で勉強になりました。機会があればまたこのような研修にぜひ参加したいです。

編集後記

寒い日々が続きます。朝アイサーピスの迎いの車の窓から見える遠くの御嶽山が、真っ白に雪化粧していました。冷え込んだ朝は、空気がピンと張り詰め、雲一つない空は清々しく、利用者さんも「きれいなねえ。」と思わず言われ、うれしそうでした。寒い冬も、思えないなあと思いました。

近くの梅林公園では、つばみが膨らんで、かわいらしいピンクの色を、つけ始めました。もう少しで暖かい春がやってきますね。

この広報紙に掲載した個人情報は、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。